

【件名】	白子川整備工事（その137）	【事務所名】	第四建設事務所
【工事場所】	東京都練馬区大泉学園町二丁目地内から 同区東大泉四丁目地内まで	【受注者名】	真柄建設株式会社
【工期】	令和4年2月21日から令和6年1月12日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 非公開

## 【工事概要】

白子川（前田橋上流）において、護岸本体となる鋼管杭打設等の護岸改修工事を施工した。

工事延長 L=133.6m

護岸基礎工 鋼管杭（φ1,000 72本）

地盤改良工、仮設栈橋工 等

## 【表彰理由】

当該施工業者は、左右岸とも民家等が隣接する狭隘な中で、鋼管打設時には影響を最小限に抑えるためにレーザーバリアを活用した接触防止や鋼管溶接後にサーモグラフィカメラで残り火の鎮火を確実に確認するなど、安全対策に工夫が見られた。また、地元対策として、一般通行用迂回路に夜間イルミネーションを装飾した通路の明示、デジタルサイネージを活用した工事情報の周知や小学生がタッチパネルで様々な情報が得られるなどの取組を実施した。それらの取り組みは円滑な施工に寄与するなど、自主的な創意工夫が他の模範となる現場であった。



施工前



施工後

## 【受注者の声】

## ◇ 苦労した点

河川両岸とも一般家屋が非常に近接していたため、振動騒音対策、レーザーバリア等での接触防止対策を実施した。また、地域への挨拶と声掛けを密に行い工事への苦情を低減させた。

## ◇ 特に工夫した点

近年多発しているゲリラ豪雨による急激な水位上昇に対して、雨雲レーダーによるアラート配信の他、目視により豪雨を予測し「雨が降り出す前の退避」を徹底し、無災害を達成した。

## ◇ 現場で得られたやりがいや達成感

ゲリラ豪雨で退避するたびに「絶対無事故で終わらせる」を合言葉に無災害を達成した。また、近隣住民から「大変だったね」等多くの労いの言葉をかけて頂き、大きな達成感を感じた。

## ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

社会インフラの整備は国民の命と生活を守るとても大切な仕事です。色々な工事を経験し建設を通じて、社会に貢献するモノづくりの楽しさを配信していきたい。



近接する一般家屋脇での鋼管打設作業（右岸側）